

民有林林道事業関連の重大災害（令和2年度）

No. 1

1 従 事 作 業	補強土壁工の埋め戻し作業
2 災 害 発 生 日 時	令和2年8月26日（水）11時頃
3 災 害 の 概 要	林道災害復旧工事において、被災者が補強土壁工の埋め戻し作業のため、林道に停止中のバックホウ(0.45m ³)に路肩側から搭乗しようとしたところ、バランスを崩し約15m下の谷あいに転落し負傷した。（全治4ヶ月）
4 被 災 者	男性 60歳
5 発 生 原 因	<ul style="list-style-type: none"> ・バックホウに搭乗しようとしていた箇所の林道の路側擁壁は高さ2メートル以上であったが、墜落防止用の手すりを設置していなかった。 ・バックホウの規格が大きかったため、作業スペース及び通路が確保できていなかった。
6 再 発 防 止 策	<ul style="list-style-type: none"> ・路肩側に墜落防止用の手すり、山側に作業用通路を設置する。また、手すり及び作業用通路について、午前午後の作業前に各1回、チェックリストに基づき点検を行い、異常があった場合は修繕を行う。 ・使用重機をバックホウ(0.45m³)からバックホウ(0.28m³)へ規格を落とし、作業スペース及び通路幅を確保する。

民有林林道事業関連の重大災害（令和2年度）

No. 2

1 従 事 作 業	重力式コンクリート擁壁の足場解体作業
2 災 害 発 生 日 時	令和2年11月19日（木）11時45分頃
3 災 害 の 概 要	<p>林道開設工事において、作業員1名が、林道の路肩構造物であるコンクリート擁壁工の前面にて倒れているのを他の作業員により発見された。</p> <p>消防に連絡後、13時30分にドクターヘリで、病院に搬送されたが、15時前死亡が確認された。</p> <p>死因の確認のため司法解剖を行った結果、直接の死因は「外傷性頸髄損傷」（首の骨の骨折）であった。</p> <p>顎や鼻などにけがが無いとため、地面で転んだとは考えにくく、足場（高さ1.4m）から転落した可能性が高い。</p> <p>足場は撤去作業中のため、手すり・巾木が設置されていない状態であった。</p> <p>手や腕を地面についた形跡が無いので、落下時には何らかの理由で意識が無かったと思われる。</p>
4 被 災 者	男性 68歳
5 発 生 原 因	調査中のため詳細は不明
6 再 発 防 止 策	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の前に作業員の健康状態を確認する。 ・足場解体作業の作業手順を定め、決められた手順で作業を行う。 ・足場撤去時は、擁壁部に親綱を張り、安全帯を使用する。 ・安全な作業の手順を定め、安全対策が確実に行われていることを現場責任者が確認する。